

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 23日は、高気圧が日本の東へ移動するが、気圧の尾根が本州付近へのびる。
- 24日から25日は、低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海へ進む。
- 26日は、低気圧が千島の東へ進み、高気圧が西日本付近へ移動する。
- 27日は、高気圧が日本の東へ移動し、低気圧が沿海州付近へ進む。

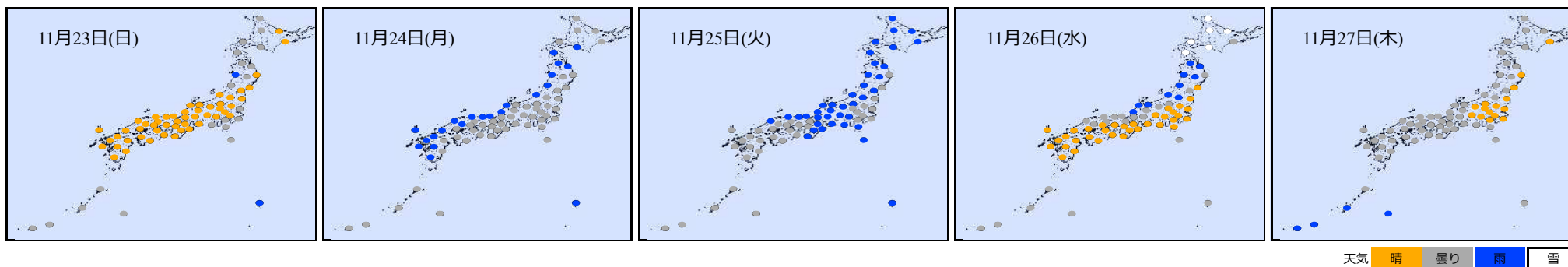
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 25日頃は、低気圧が発達しながら日本海を進むため、東日本日本海側を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

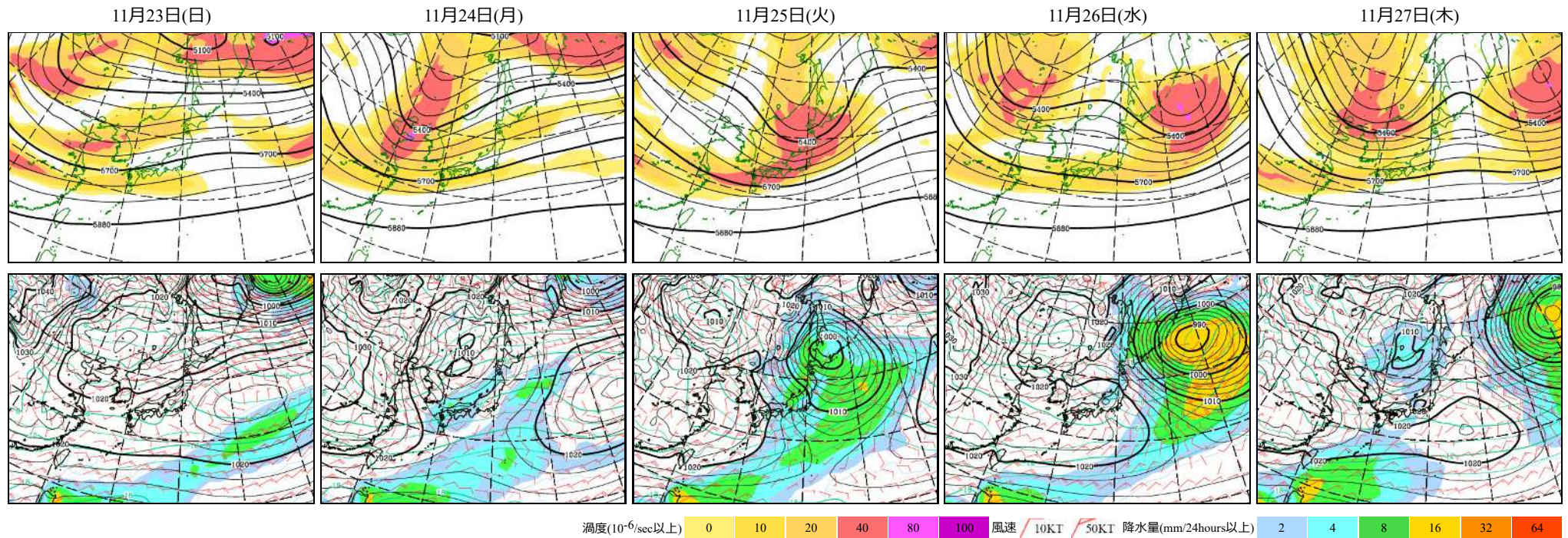
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

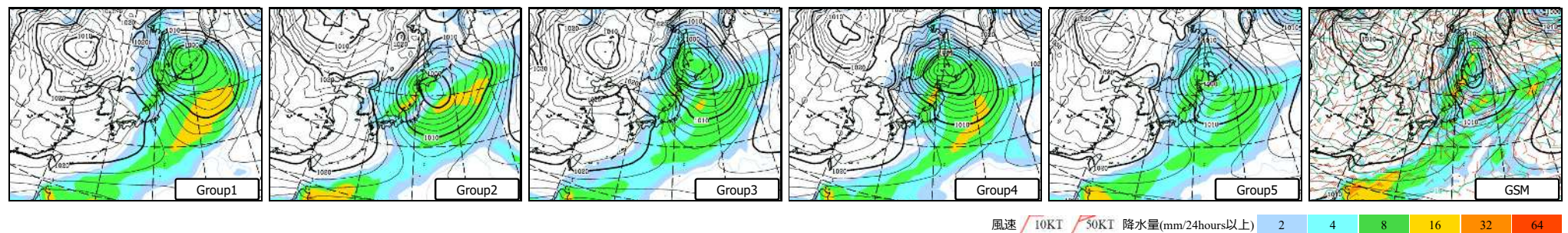


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、晴れる所もあるが曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多いが、24日から25日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、期間を通して雲が広がりやすく、27日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月25日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、25日は北日本付近へ進むトラフが浅くなり、低気圧の発達はやや弱まった。27日は朝鮮半島付近へ進むトラフが深くなり、低気圧が沿海州付近へ進む予想となった。降水確率ガイダンスは、24日は日本海の気圧の谷に伴う降水予想が明瞭となったため、東・西日本日本海側を中心に大きくなった。
- 各モデルとも、25日以降は日本付近へ進むトラフやリッジに初期値変わりが見られるが、昨日資料に比べるとモデル間で近づきつつある。
- スプレッドは、期間の後半は大きくなり、5400mの特定高度線のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。